

家庭教育通信

1年生になったら 3

第63号 平成30年11月11日発行

～「放課後」～

保育園のお迎えが6時から7時のわが子。小学生になったら幼稚園出身の子とも一緒になる。学校が終わったら、友達ときっずクラブでと思っているけれど、どんな感じなのかしら。行きたくないって言ってきたらどうしよう。

小学校では新しい先生や友達を始めとして、これまでとは大きく環境が変わりますが、そこで戸惑いが生じるのはむしろ健全なことです。こどもの小さな葛藤や驚きに、ぜひ耳を傾けて寄り添ってあげてほしいと思います。

放課後のきっずクラブでは、仲良くなった友達と様々な活動を自発的に楽しんだり、上級生のお兄さんやお姉さんと一緒に遊んだり、宿題をやったりしている姿が見かけられます。

こどもの育ちと安心感

このような新しい環境に慣れて楽しい生活をスタートする際に、最も大きな影響を与えるものは「人間関係」です。小学校でもきっずクラブでも、新しい先生や友達と「良好な関係」をつくっていくことが、毎日の生活を楽しく生き生きとしたものにしていきます。

良好な人間関係をつくるために大切なのは、「自分は受け入れてもらえている」、「自分はかけがえのない大切な存在なんだ」、という感覚に裏付けられた、こどもの中の「安心感」です。

保護者がこどもにとって自分を受け止めてもらえる安全基地になっていると、離れていてもこどもは安心感をもって友達との関係性を深めていったり、遊びでも勉強でも、できなかったことにチャレンジして、自分を成長させていくことができるようになります。生活の変化への適応や自立のためには、こどものなかにしっかりとした「安心感」が育っていることが大切なのです。

幼児期にはこどもが求める抱っこやハグはもちろんですが、こどもにしっかりと気持ちを向けて、日々の会話のなかで今日何があったのか、こどもは何を望んでいるのかといったことに共感して思いを寄せることで、学びと自立に必要な「安心感」を育てていただきたいと思います。

庶務課社会教育担当

TEL (3647) 9676